

小林先生、長い間ありがとうございました

竹井 祥郎（大気海洋研究所 教授）

本学名誉教授小林英司先生が、2012年のクリスマスイブに93歳の天寿を全うされ、天国に召されました。ご冥福をお祈りするとともに、先生にお世話になった国内外の多くの研究者を代表して、心からお礼申し上げます。

小林先生は、1942年に東京帝国大学理学部動物学科をご卒業になり、助手、助教授を経て、1970年より教授として三崎臨海実験所に赴任されました。1979年に定年退官されたのちは、東邦大学、および全薬工業株式会社研究所で1999年まで研究を続けられ、文字通り「生涯一研究者」としての人生を全うされました。いっぽうで、日本比較内分泌学会を創設するとともに、日本動物学会会長と

して、わが国の動物科学を牽引されました。

東大での最後の弟子として先生との思い出を辿ると、常に何かに夢中になっている少年のような姿が浮かんできます。東大時代には視床下部・脳下垂体系の研究で世界を牽引し、ノーベル賞を受賞したシャリー（A. W. Schally）やギルマン（R. C. L. Guillemin）と張り合っていました。その業績に対して、日本鳥学会賞、日本動物学会賞などの学会賞、および日本学士院賞が授与されています。さらに東邦大学時代にはホルモンと飲水行動において新しい概念を提唱され、全薬工業時代にはミミズから新しい抗菌物質を発見されました。このように、先生は自分の背中で「研究者はこうあるべきだ」と



■ 故・小林英司先生

私たちに示されました。一生夢を追いつけ、権威とは無縁の人でしたが、勲三等旭日中綬章を受章された時のお写真で先生を偲ばせていただきます。

藤田良雄先生のご逝去を悼む

辻 隆（名誉教授）

本学名誉教授藤田良雄先生は、2013年1月9日ご逝去されました。享年104歳でした。先生は1931年本学理学部天文学科をご卒業になり、東京天文台技師、理学部助教授などを経て、1951年同教授に就任、1969年定年退官されるまで、本学理学部天文学教室に於いて天文学の研究・教育にご尽力されました。

先生のご専門とされた天体物理学は、1930年代はなお黎明期にあり、恒星のスペクトル系列は温度の系列であることが分っていましたが、低温の星では、分子スペクトルが異なる特徴を示す3つのスペクトル型に分岐するのはなぜかが問題でした。先生は分子組成にたいする炭素、窒素、酸素の相対組成の効果を詳しく検討され、この問題の解明に大きな寄与をされました。さらに先生は物理的観

測の重要性を痛感され、わが国に本格的な天体望遠鏡を建設することにご尽力され、1960年に口径1.88mの反射望遠鏡（現・国立天文台岡山天体物理観測所の主力装置）の完成をみました。先生はこの望遠鏡を駆使して分光学的研究を推進され、研究者の養成にあたられると共に、炭素星のスペクトル線同定や炭素同位体組成比の決定などに幾多の成果をあげられました。

先生はこれらの業績にたいして、1996年に文化功労者に選ばれるなど数々の栄誉をお受けになり、また、1994年からは日本学士院長を6年間お勤めになるなど、わが国学界に多大の貢献をされました。先生は、1999年の歌会始には召人に招かれるなど、歌にも深い造詣がございました。



■ 故・藤田良雄先生（2008年9月28日、満100歳お祝の会にて、内海和彦氏撮影）

先生は重い病気とは無縁で、安らかに眠るが如くに亡くなられたと伺っています。ご冥福を心よりお祈り致します。

編集委員会からも、謹んで藤田先生に哀悼の意をお届けします。先生は、ご存命の全学の名誉教授およそ1400名の中で、抜きん出て最長老でおられました。「理学部ニュース」2009年11月号では、先生の101歳の誕生日を、特別記事としてお祝い申し上げました。

近くは2012年5月号の誌上、須藤靖教授に執筆いただいたエッセイ「朝永振一郎の博士号はどこから？」の添付年表では、朝永振一郎博士らと並び、藤田先生が昭和14年（1939年）に博士学位を授与されたことが記録されています。偉大な先輩のご冥福を祈ります。

東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※) は原著が英文 (和訳した題名を掲載)

種別 専攻 申請者名 論文題目

2012 年 12 月 17 日付学位授与者 (2 名)

課程 生科 山口 今日子 日本人における皮膚色関連遺伝子多型の同定 (※)

課程 生科 松平 一成 テナガザルの分子系統・分子生態学 (※)

2012 年 12 月 31 日付学位授与者 (2 名)

課程 物理 田中 裕彬 CP3 上のジャイアントマグノンと AdS/CFT 対応

課程 地惑 山根 雅子 鮮新世 - 更新世の東南極氷床変動復元 (※)

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2013.1.8	ビッグバン	客員教授	STAROBINSKIY ALEXEY ALEXANDROVICH	採用	
2013.2.8	ビッグバン	客員教授	STAROBINSKIY ALEXEY ALEXANDROVICH	任期満了退職	
2013.2.15	物理	特任助教	阿部 喬	辞職	助教へ
2013.2.16	天文	教授	戸谷 友則	採用	国立大学法人京都大学大学院理学研究科・ 准教授から
2013.2.16	物理	助教	阿部 喬	採用	特任助教から

あとがき

今号の編集をもって編集委員の任期を満了することになりました。ほぼ大震災からの2年間で担当したわけですが、この間、本業(地震学)を取り巻く深刻な話題がいくつもありました。震災自体、震災からの復興はもとより、巨大地震被

害想定の見直し、地震予知研究への批判、イタリア人研究者への有罪判決、原発周辺の活断層調査等々。社会に対して研究者の知見を正確に効果的に伝える必要性を強く感じるとともに、その難しさも痛感しました。本理学部ニュースの

対象は必ずしも社会一般ではありませんが、今後知見を伝えていくための良い経験となりました。来年度以降、編集作業を離れても、記事提供などを通じて貢献できればと思っています。

井出 哲(地球惑星科学専攻 准教授)

東京大学理学系研究科・理学部ニュース 第44巻6号 ISSN 2187-3070

発行日: 2013年3月20日

発行: 東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集: 理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会

rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明(地球惑星科学専攻, 編集委員長)

石田 貴文(生物科学専攻)

井出 哲(地球惑星科学専攻)

福村 知昭(化学専攻)

牧島 一夫(物理学専攻)

横山 広美(広報室)

國定 聡子(総務チーム)

宇根 真(情報システムチーム)

武田加奈子(広報室)

印刷: 三鈴印刷株式会社

本ニュースはインターネット
でもご覧になれます。

東京大学 理学部ニュース

検索

